

2024年12月29日 主日礼拝

司 会 ①熊谷兄 ②遠藤兄 ③浜田兄(小泉姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌292番「今日まで守られ」
(主を喜ぶことは)(み手の中ですべては変わる賛美に)
モーセの十戒

聖 書 ①④ ルカによる福音書4章14～19節 (P89)
②③ 詩篇103篇1～5節 (P838)

音 楽 ①④ 独唱・佐佐木ジョシュア先生(V)
②③ 後藤晃士兄(フィンランドのヨエンスー管弦楽団首席チェロ奏者)
(ピアノ伴奏:黒江真己姉)

メッセージ ①④ 「主の恵みの年」 大川主任牧師・58才(V)
②③ 「マイナスの中にも宝がある」 石黒久浩先生

賛 美 「主にまかせよ」(讃美歌291番) 献金
頌 栄 「主を賛美しよう」アーメン
祝 禱 大川従道主任牧師

「わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。」
(詩篇一〇三の二)

【大和ニュース】

☆今年も一年守られたことを心から感謝し、栄光を主に献げます。

来年はリバイバルの年です。受洗者70人を目指して前進しましょう。

☆①初詣礼拝は元旦11時(1回のみ)。記念撮影あり、マスク着用。

基調メッセージ:大川従道主任牧師 特別賛美:香月健氏・佳子氏(ご夫妻)

(大和駅発バス 10:10、10:20、10:35) 日曜学校あり(森チャペル)

②新年リバイバル聖会は3日(金)13:30(1回のみ)

説教は倉知契先生(瀬戸カルバリーチャペル牧師) 特賛は Cloud by Day

※今週の水・木の祈禱会は、聖会に合流です。

* 主日礼拝人数 ①88人(231) ②237人(165) ③312人(260) ④17人=1310人

定例祈禱会 水曜58人(141) 木曜147人(91)=437人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

聖クリストフォロスの伝説をご存知でしょうか。クリストフォロスは川の渡し守でしたが、たまたま一人の少年を背負って川を渡るようになりました。

しかし一歩一歩進むうちに、どういうわけか、少年がずしりずしりと重くなっていくのです。彼は水をかぶりながら、足をふんばって何とか川を渡りきりました。クリストフォロスがふとうしろを振り返ってみると、そこはものすごい急流でありました。その時彼は悟るのです。もしもあの少年の重みがなければ、自分は完全に流されてしまっていたに違いない。

その少年こそキリストであり、その重さは世界の重さであった。そういう伝説であります。クリストフォロスは「少年を運ばなければ、守らなければ」と必死の思いでしたが、そこで逆に不思議にも、神のよき力に守られていたのです。ヨセフも何度もそのような経験をしたに違いないと思います。

この一年をふりかえてみて、背負わせられてはじめて新世界を体験できましたと告白できる人が大勢おられます。

「すべて重荷を負って苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう」(マタイ11の28)。「休ませてあげよう」の原語には、「慰める」「元気づける」「新しい戦いに立ち上がる力」という意味がある。

この一年間でどの位の重荷をかつがせていただいたでしょう。背負わせられた。知らない内に「十字架をかつがせられていた」等々。ありがたくって涙こぼる！です。ご一緒に感謝と賛美を主に献げましょう。

昨日、台湾の代表的牧師と実業家の方々から連絡が入りまして、日本を代表して大川の協力を求めて来ました。台湾や韓国やシンガポール等が、現在リバイバルのご様子ですが、彼らは「日本が加わり、日本にリバイバルが起ってほしい！」彼らの叫びです。日本に聖霊の火が注がれ、日本に救霊のリバイバルがなされることを望んでおられます。

私たちの群も、来年は70人の受洗者を求め祈りたいと願っています。アーメン！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: 黙示録20章～マタイ4章 Bコース: ゼカリヤ10章～創世記11章